

2022年12月3日～12月4日

# 古代アメリカ学会 第27回研究大会 プログラム

主催：古代アメリカ学会

共催：名古屋大学大学院人文学研究科

名古屋大学  
野依記念学术交流館

## プログラム12月3日(土)

12:40 受付開始

13:10 開会のことば

### 【調査速報 13:15-15:05】

#### ①13:15～13:35

「ペルー、モンソン川流域第一次調査速報」

金崎由布子(東京大学)

カルロス・ヴィヴィアノ(ペルー国立サン・マルコス大学)

大谷博則(モンソン川流域考古学プロジェクト)

佐藤優音(東京大学)

ホセ・オノフレ (ペルー文化省ワヌコ支局)

#### ②13:35～13:55

「山のナスカ:ペルー、ワンカベリカ州チュパ遺跡の第1次発掘調査」

土井正樹(関西外国語大学)

フレディ・ワマン・リラ(チュパ遺跡考古学プロジェクト)

—休憩(13:55-14:05)—

#### ③14:05～14:25

「X線CTによる笛吹きボトル土器の構造の分析」

吉田晃章(東海大学)

鶴見英成(放送大学)

真世土マウ(岡山県立大学)

喜多理王(東海大学)

栗野若枝(東海大学)

#### ④ 14:25～14:45

「PIACL2022」

松本剛(山形大学)

ガブリエラ・デ・ロス・リオス(ランバイエケ複合考古学プロジェクト)

ジャンポール・ニエベス・コルドバ(ランバイエケ複合考古学プロジェクト)

ステファニー・ママニ・エスコバル(ランバイエケ複合考古学プロジェクト)

大谷博則(ランバイエケ複合考古学プロジェクト)

ガブリエル・ビジェガス・フルカ(ランバイエケ複合考古学プロジェクト)

⑤ 14:45～15:05

「ペルー北部ハエン地方における LiDAR 測量」

山本睦(山形大学)

大谷博則(インガタンボ考古学プロジェクト)

オスカル・アリアス(ペルー国立サン・マルコス大学)

ガブリエル・ビジェガス・フルカ(インガタンボ考古学プロジェクト)

ケビン・エスピルトゥ(インガタンボ考古学プロジェクト)

鶴見英成(放送大学)

—休憩 15:05-15:15—

【研究発表 15:15～16:15】

⑥ 15:15～15:45

「マヤ文明の起源、交換とものづくり:メキシコ、アグアダ・フェニックス遺跡の石器分析を通して」

青山和夫(茨城大学)

⑦ 15:45～16:15

「考古学からみたエル・ニーニョ現象と資源量の変動サイクル」

荘司一步(日本学術振興会特別研究員PD)

ビクトル・バスケス(考古生物学研究所アルケオビオス)

テレサ・ロサーレス(トルヒーヨ大学)

【総会 16:30-18:00(予定)】

## プログラム 12月4日(日)

08:40 受付開始

### 【調査速報 09:00-12:00】

①9:00～9:20

「チャルチュアバ遺跡エル・トラピチェ地区 2022年夏の調査」

伊藤伸幸(名古屋大学)

②9:20～9:40

「メソアメリカの絵文書とアルファベット年代記—シウアマトル(「年の書」という観点から—」

井上幸孝(専修大学)

—休憩(9:40-9:50)—

③9:50～10:10

「古代アンデスにおける戦争と社会」

渡部森哉(南山大学)

④10:10～10:30

「ペルー北高地ラ・カピーヤ遺跡における「巻き貝の神官墓」の発見」

関雄二(国立民族学博物館)

フアン・パブロ・ビジャヌエバ(ペルー国立サン・マルコス大学)

ダニエル・モラーレス・チョカーノ(ペルー国立サン・マルコス大学)

⑤10:30～10:50

「クントウル・ワシ遺跡における形成期のラクダ科動物飼育の検証」

瀧上舞(国立科学博物館)

鵜澤和宏(東亜大学)

井口欣也(埼玉大学)

—休憩(10:50-11:00)—

⑥11:00～11:20

「連結する文化遺産:ペルー都市部における先史時代の道と水路をめぐる問題とその可能性」

サウセド・セガミ・ダニエル・ダンテ(立命館大学)

⑦11:20～11:40

「ペルー南海岸、トレス・パロスⅠ、Ⅱ遺跡発掘調査速報」

松本雄一(国立民族学博物館)

ホルヘ・オラーノ・カナーレス(パリ第一大学)

坂井正人(山形大学)

⑧11:40～12:00

「『輿上の神』:地方プカラ様式と『正面向きの神』の起源について」

佐藤吉文(南山大学/京都外国語大学)

12:00 閉会のことば